
死について

yuki

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死について

【コード】

N9517N

【作者名】

yuki

【あらすじ】

読んでみて

私の感想文だと思ってさ
しょうもないけど

死

死とは？

なんだろう

おまえは病んでいる。そうよく言われる。死について自分の考えを言っているだけなのに死ぬことについて私はこう考える。

死とは生と同じ人間の通過儀式なんだよ。

勝手に私たちは生まれ、そして勝手に死ぬ。

死ぬ瞬間は人それぞれだけど生まれてすぐ死んだり100歳で死んだり、死とは残酷だよ。

だけどそれが世界の法則であって変えることは不可能。

自分の死は自殺以外選べないんだよ？？

ならば、どうやって最後は死にたい？？

自殺、殺人、心中

あなたはどれがいちばん悪い？

全部一緒悪いも糞もない。死んだら一緒なのさ死体以外何も残らない…なにも…

私が言いたいののはさ、死んだらそこで終わりBAD ENDってこと。やり直しは利かない。ゲームみたいな人生に終わりがくるんだよ。

自殺者はさ、人生から脱出した人なんだよ。私から言わせたらよくやったおめでとう！

でも他人からみたら心が弱いからだの、落ちこぼれなんだよね。

いじめ、借金、人間関係さまざまなトラブルから逃げたいって思わない???

そのトラブルに立ち向かえてって言う奴は偽善者だって思うんだよね。そんなにいい人ぶりたい??

トラブルに直面してないから他人事として言うんだよ。さいてー。そういう奴の言葉は《励まし》じゃなくて《苦痛》にしかならないって知らねえーのかよ。

だから脱出するんだ。この腐りきった、濁りきった世界から...とある人は現実逃避するいわばオタク、またはニート、または不良、または自殺.....
逃げ方は多種多様なのさ...

殺人はどー思う???

私はそれも世界から逃避するための一種だと思うよ。殺人を肯定するわけじゃないけどさ。

そいつが《憎い》だから殺す。あいつが私とみて笑っただから殺す。

でもさ、それじゃただの快楽を求めて人を虐殺する殺人鬼とかわら

ない。

それは逃避じゃない。他人をまきこんで逃避するのは子供がやること。逃避したいなら他人を巻き込まず

自分だけでできるようにならなきゃ……………

いきなりだけど心中ってよくないと思う

時と場合と人によるけど…

知ってる?? 心中ってさ辞書ひらくと相愛の男女が一緒に死ぬことってでるんだよ。

それってさ《助け合う人》がいるんだよ??

じぶんを思ってくれてる人が家族以外にいるってことじゃん。さいこー。

そーゆうやつってさ、なんだかむかつくよ。

イチャイチャカップルよりいらいらするよ。

私が言えた義理じゃないが助け合って頑張れや…………

最近は家族でつてのが多いらしいね。

とりあえずそれって無理心中ってやつだよな。子供連れかー…子供
の身にもなれよな…

子供にくらい自分の死にかた選ばせてやれよな…

いいたいのはそれだけなんだけどさ…

まあ最終的に私が思うのはさ、だれがどこでどうやって死んだかなんて関係ないのさ。

人ってのは何千、何万、何億っていやがるんだせ。

その中の一人が死ぬ。さあ何が変わるかわかるか？

・・・

・・・

・・・

・・・

わからないよなあ。そんなの一時的に誰かが泣いて、時が過ぎれば終わりなのさ。

なにも変わりはない。ご愁傷様ですそれで終わり…

人間ってのは1000年ちつとしか生きられない。その1000年を華の1000年にするやつしないやつ。

でもよ華の1000年を過ごせる奴はさ、ごく一部だけどあなたはどつちにしたい？

でもさ、華の1000年を過ごせるのは一種の金持ち貴族だけなんだよ。

あなたは足掻いて悔いのない人生にする??無理だし無駄さ。

でもよ人間っていきものはあきらめないんだよね。ほんとすごいわ。。。

まあこんなこと言ってる私も一応は霊長目類人類上科のヒト族だからさ、

そのごく一部の人間になりたいとか思っちゃたりしてさ。さいてー本能ってやつかな?人間の…でもこういう奴の死に様はろくでもね

えんだらうよ。

ほんとはさ、みんな死にたくないはずなんだけどさ、どっかで追いつめられて

んで心の一欠けら一欠けら欠けていって、しまいには砕けちってしまうんだらうよ。

私がおもつのはさ、心が強い奴なんていないってことさ。

助けがあつた奴は華の100年を。

助けてもらえなかった奴は地道に華の100年を目指すか途中棄権するか。

選ぶのは自分なのさ…でもさ、結局どんな人生送ろうが最後は《死》さ。

もう一回言うけど死つてのは通過儀式に過ぎないと思うんだ。

誰かが死ぬことは必然であり偶然ではないんだ。

死は怖いし死にたくない。でも最後はくるんだ。

それまでの一瞬一瞬を幸せに生きるも死ぬもそのヒト次第ってこと。

あなたは《死》についてどう考えますか？

終わり

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9517n/>

死について

2010年10月10日12時54分発行